



学校だより 12月号

横浜市立日下小学校 令和5年 11月30日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

「体験・交流活動の大切さ」

校長 渡邊 勉

朝晩の冷え込みが日に日に厳しくなり、いよいよ年の瀬、12月になります。街路樹の葉も少なくなり、凍えそうな幹の姿に冬の訪れを感じます。

運動会が終わった11月は、多くの学年で校外学習や交流の活動が盛んに行われました。3年生は校外学習として神奈川県警や日本丸の見学をして、現地に行かなければ分からないことをたくさん学んできました。2年生は、日下農園でサツマイモの収穫をしたり、中央公園で愛護会の皆様と一緒に花植え体験を行ったりしました。1年生は遠足として新江ノ島水族館へ行き、海の生き物を触って調べる体験をしたり、イルカショーを楽しんだりしました。初めての遠足でしたが、実行委員や各班をまとめるリーダーの子どもたちが一生懸命頑張っている姿が印象的でした。

6年生は11月14日(火)、15日(水)に日光修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、学年全員が参加することができました。華厳の滝や湯滝の見学、戦場ヶ原のハイキングではガイドの方の説明を聞いて、日光の自然に触れると共に、深く理解することができました。また、東照宮などの世界遺産を実際に見て文化や歴史を感じることもできました。子どもたちは、出発前に修学旅行のスローガンを決めていましたが、この2日間を通して自分たちで学び、考え、協力するというめあてを意識しながら行動し、学年の仲間のよさをたくさん見つけていたことに感心しました。

子どもたちは行くこと自体が楽しみですが、校外学習や遠足、修学旅行には「ねらい」(身に付けさせたい力)があります。そこで、子どもたちには、事前指導や当日の活動の中で、「めあて」として意識させ、力を付けるようにしています。また、戻ってきた後は、振り返りをして付いた力の価値付けをします。そのようにして、子どもたちの自信を深めていきます。

11月に行われた交流活動としては、3年生が港南区の音楽会に参加し、5年生が上大岡小学校とのスポーツ交流会を行いました。どちらの学年も一生懸命練習に取り組み、素敵な合唱を目指したり、長縄やリレーでチームワークを磨いてきたりしました。当日は他の学校の子どもたちとの交流のよさも感じながら、お互いに刺激を受けて良い交流を図ることができました。

校外学習や交流活動を通して、やはり学校内だけではできない体験をすることが、子どもたちの学びを深くすることができるのだと改めて感じました。事前指導から事後のまとめまでを通して、しっかり「めあて」を決めてみんなで取り組み、達成する経験こそ学校教育で大切にすることなのだと思います。これから校外学習を控えている学年も体験を通して深い学びをし、成長して行ってほしいと思います。

令和5年もあとひと月となりました。1年間学校生活の様々な取組にご協力をいただきありがとうございました。令和6年も引き続き、本校の教育にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様、どうぞよい年の瀬をお過ごしください。